

4 漁 業 状 況

田子の浦漁港は、北に霊峰富士を仰ぎ、南に紺碧(こんぺき)の駿河湾を望む白砂青松の奥駿河湾に位置し、かつては小須(おす)港と称した河口港であったが、背後地の岳南工業地帯の発展により港湾整備の必要に迫られ、昭和36年の田子の浦港の開発に合わせ整備された。これにより漁業形態も大転換し、海辺に陸揚げされていた漁船はほとんど姿を消し漁港に係留された。同時に漁船も大型化し漁民の漁業意欲も高揚された。

しかし、工業発展に伴い大気汚染、水質汚濁は悪化の一途をたどり、漁獲量は年々減少し当地の漁業は絶滅寸前に至った。昭和47年以後の公害防止策により再び青い海を取り戻し、現在は、しらす船一艘びきを主に刺網、観光地びき網、遊漁船漁が行われている。

田子の浦漁業協同組合は、昭和39年に原浦、愛南、元吉原、田子の浦の各漁港が合併し現在、組合員113名、漁船数72隻を擁し、富士市海域及び一部沼津市海域海岸線延長16キロメートルの海域に出漁操業している。また、漁協事業は購買、販売、冷凍、製氷、無線業務を行い、昭和52年に現事務所への移転に伴い、漁業共同施設加工場、大型冷蔵庫が設置され、平成30年度には製氷貯水施設の規模拡大工事を実施し、魚価の安定を図るべく操業中である。

また、田子の浦漁業協同組合は、平成21年よりしらす丼などを提供する漁協食堂の運営を開始し、田子の浦におけるしらすの知名度向上に努めている。田子の浦しらすは、地理的表示(GI)保護制度(※)に生しらすが平成29年、釜揚げしらすが令和3年に登録されている。

(※) 地理的表示(GI)保護制度: 地域で長年培われてきた生産方法や風土などの特性により、高い品質が評価された産品を知的財産として国が保護する制度

(1)組合員数

組合員	令和6年
正組合員数	56名
准組合員数	57名
計	113名

(2)漁業経営体数

種類	令和6年
しらす船びき網漁業	21
刺し網漁業	6
一本釣漁業	47
地びき網漁業	3
小型底びき網漁業	1
計	78

(3)漁船隻数

(ア)動力船

トン数別	令和6年
0～1トン未満	4隻
1～3トン //	8隻
3～5トン //	45隻
5トン以上	15隻
計	72隻

(イ)無動力船

トン数別	令和6年
0～1トン 未満	0隻
1～3トン //	0隻
計	0隻

資料: 田子の浦漁業協同組合
令和6年12月31日現在

経営体数・水揚高(しらす)

区分	経営体数	対前年比	水揚数量	対前年比	水揚金額	対前年比
平成 17年	27戸	100%	115.5t	218%	101,074千円	191%
〃 18年	27戸	100%	84.1t	73%	78,815千円	78%
〃 19年	27戸	100%	94.0t	112%	71,676千円	91%
〃 20年	26戸	96%	88.6t	94%	55,430千円	77%
〃 21年	26戸	100%	144.1t	163%	99,862千円	180%
〃 22年	26戸	100%	82.7t	57%	66,315千円	66%
〃 23年	26戸	100%	137.2t	166%	72,519千円	109%
〃 24年	26戸	100%	122.2t	89%	90,009千円	124%
〃 25年	25戸	96%	121.7t	100%	79,671千円	89%
〃 26年	25戸	100%	221.5t	182%	148,625千円	187%
〃 27年	26戸	104%	170.7t	77%	120,458千円	81%
〃 28年	26戸	100%	147.6t	86%	136,345千円	113%
〃 29年	26戸	100%	70.0t	47%	86,367千円	63%
〃 30年	26戸	100%	70.1t	100%	114,359千円	132%
令和 元年	25戸	96%	50.2t	72%	71,418千円	62%
〃 2年	24戸	96%	64.0t	127%	75,839千円	106%
〃 3年	23戸	96%	36.3t	57%	53,050千円	70%
〃 4年	21戸	91%	24.7t	68%	41,106千円	77%
〃 5年	21戸	100%	32.6t	131%	66,046千円	160%
〃 6年	21戸	100%	36.6t	112%	63,568千円	96%

資料: 田子の浦漁業協同組合
令和6年12月31日現在

《参考》漁協食堂販売状況(しらす丼)

区分	販売数		バスツアー
平成 28年度	66,516食	(249.1食/日)	317台(11,435食)
〃 29年度	51,045食	(271.5食/日)	278台(9,061食)
〃 30年度	57,921食	(237.4食/日)	94台(3,347食)
令和 元年度	54,431食	(207.6食/日)	27台(839食)
〃 2年度	42,090食	(173.2食/日)	0台(0食)
〃 3年度	56,686食	(209.2食/日)	4台(74食)
〃 4年度	59,306食	(232.6食/日)	4台(97食)
〃 5年度	71,514食	(279.3食/日)	8台(207食)
〃 6年度	72,755食	(278.8食/日)	10台(187食)

※販売数にバスツアー分の食数は含まない

資料: 富士山観光交流ビューロー